

- 現在、氷川小学校では、令和5・6年度草加市教育委員会委嘱谷塚中学校区「幼保小中一貫教育」研究を受けて、児童の「自己肯定感」と「自己有用感」を高める取組を進めております。
- 自己肯定感とは、「『自分は大切な存在だ』と思うことができ、自分に自信をもつことができる心」のことです。
- 自己有用感とは、「『他人の役に立った』、『他人に喜んでもらった』など、社会性の基礎となる心」のことです。
- 自己肯定感と自己有用感を高めると、「自分に自信をもつことができる」、「粘り強くやり抜く力が高まる」、「周囲の人々に感謝の気持ちをもち、謙虚な態度で接することができるようになる」などの効果が期待できます。保護者の皆様におかれましては、是非、お子様の自己肯定感・自己有用感を高めるための取組にご協力ください。

● お子様の「自己肯定感」を高めるために、以下の取組やお声掛けを、ご参考にしてみてください。

- ① お子様には、規則正しい生活を送るよう、お声掛けをお願いいたします。「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣を守り、お子様が心と体の安定を保てるようにしましょう。
- ② お子様に、小さな目標を立てて、行動させてみましょう。そして、たくさん褒めて、目標を達成したという「成功体験」を積み重ねさせましょう。
- ③ 失敗したことをあまり否定せず、チャレンジしたことを褒めてあげてください。
- ④ お子様に、自分自身に対して「できない。」とか「無理。」などの否定的な言葉を使わないように励ますことが大切です。「やればできる。」とか「自分は大丈夫。」といったポジティブな感情を大切にするよう、お声掛けをお願いいたします。
- ⑤ お子様を他人とあまり比べないことが大切です。
- ⑥ お子様には、自分の得意なことや好きなことを積極的に行うよう、励ましてあげてください。
- ⑦ お子様が、音楽や運動など、自分の気持ちを切り替える方法を見つけることができるといいですね。



● お子様の「自己有用感」を高めるために、以下の取組やお声掛けを、ご参考にしてみてください。

- ① お子様の話をじっくりと聴いたり、話しかけてあげたりすることが大切です。
- ② お子様の「存在自体」を認めるようなお声掛けをお願いいたします。
- ③ お子様ができたことをしっかりと認め、褒めてあげましょう。また、褒めるときは、何が良かったのか、具体的に褒めるようにすると効果的です。
- ④ お子様に、お家の仕事のお手伝いなどに取り組ませて、褒めて、達成感を味わわせてあげましょう。
- ⑤ お子様が、認めてほしいと考えていることを褒めるようにしましょう。
- ⑥ お子様には、自分の得意なことを活かして、進んで周りの人の役に立とうとする考え方や習慣を身に付けさせることができるといいですね。
- ⑦ 子ども同士が認め合う場を、意図的に設定するなど、お子様の「人間関係づくり」を支援してあげてください。

